

新時代を切り開く 二十歳の若人

成人式は名を変えて

民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられました。このことに伴い、成人式は「二十歳のつどい」に名称が変わりました。

令和5年の式典の対象者は、平成14年（2002）4月2日から平成15年（2003）4月1日に生まれた266人（男性138人、女性128人）。1月8日の式典当日はそのうちの211人の他にも、保護者や付き添いの人が来場し、中央公民館「邑の森ホール」で開催されました。



式辞に立った金子正一町長は「これからの重

大な責務を自覚し、その誇りを持って行動することを期待しています。ぜひ、皆さんには高い理想と夢を追求しながら、大きく躍動していただきたい」と式辞を述べました。



続いて松村潤町議会議長は「皆さんは今まで多くの人に守り育てられてきました。これからも、周囲の暖かい見守る目があることを決して忘れず、人と人との出会い、そして絆を大切に生きてほしい」と激励しました。



そしてまた一歩ずつ

祝福と激励を受けた二十歳を代表して関根慶斗さん（光善寺・15区）は謝辞の中で「これからは大人として責任を持って行動しなければなりません。社会の一員として自覚を持ち日々努力します」と決意を述べ、「今までお世話になった人に感謝を伝え、今日まで頑張ってきた自分をいっぺい褒めて、明日からまた一日を歩み出していきます」と志を新たにしました。



◀企画から準備、当日の司会進行までをやり遂げた二十歳のつどい実行委員の皆さん。左から松田彩希さん（水立大黒・23区）、山片志恩さん（石打・20区）、平田里菜さん（開拓・32区）、関根慶斗さん（光善寺・15区）、鈴木まいさん（明野・34区）。

掲載しきれない写真
少しだけあります

Photo
Motto

